



生きものの調査コース
荒川堤外の
自然を訪ねて！

NPO法人エコシテイ志木事務局長

青木 明雄

今回は、荒川堤外のコースをご紹介します。スタート地点は、秋ヶ瀬スポーツセンターです。ここから堤防を越えて、荒川の河川敷に入ります。土手からは、宗岡の建物の様子がよく見えます。富士山や秩父の山々がとてもよく見えます。また河川敷は、羽根倉橋から下流側の横堤までが一望でき、今回のコースの全体を見ることができます。

堤防を下りると秋ヶ瀬運動公園総合運動場がありますが、この運動場の脇に沿って進んでいくと

突き当りの田んぼの脇に水路があります。この水路でヒメタニシを見つけました。市内では、他であまり見ないですね。運動場の裏に回っていますが、この運動場の周りには、樹木で覆われていて、フェンスが隠れて見えませんが、最近では、背の高い銀杏を残して、低く切られてしまいました。羽根倉橋から秋ヶ瀬橋まで、パークゴルフ



総合運動場脇



中堤まで続く田んぼ

場周辺を除いて、広い田んぼが広がっています。稲刈り頃には、沢山のシラサギを見ることができます。荒川では、チュウサギも見ることができます。また、ハクセキレイやムクドリなどの野鳥も餌や水を求めてきています。

運動場の裏から、田んぼのあぜ道を通って、水の流れている低水路沿いのグラウンドとの間の大きな通りに出ます。田んぼのあぜ道を歩いていると、トウキョウダルマガエルやトンボなどに合うこともできます。



河川敷中央の通り

河川敷中央の大きな通りを、下流に向かって歩きます。この通りは、羽根倉橋下から秋ヶ瀬取水堰までは、車がすれ違える舗装道路が真っすぐに 2 kmほど伸びています。少し行くと、左に中央公園があります。この公園の真ん中には、河川敷では珍しく、背の高いケヤキの木があります。

この辺りから、パークゴルフ場辺りまで、道路の右側には、センナリホウズキを沢山見ることができます。志木市内では、ここだけで見ることができる貴重な場所です。



実を付けているセンナリホウズキ
市内では、ここだけです。

また、パークゴルフ場周辺の田んぼやグラウンドには、冬になると数十羽のタゲリがやってきます。

冠羽根があり、背中が玉虫色に輝いているとてもきれいな鳥です。このタゲリも、市内では、ここだけで見ることができます。



タゲリ
歩き方に特徴があります

パークゴルフ場の先に、田んぼの水が、荒川に流れる排水路があり、この排水路脇から川に出ることができます。ボートや水上バイクなどもここから川に出ていきます。ここを利用して、自衛隊や消防隊などの救助訓練がよく行われています。川には、カンムリカイツブリやホシハジロなどもやってきます。志木市内ではここでしか見ることができない貴重な場所となっています。

生きもの調査では、時間との関係で、パークゴルフ場のコースの間を抜けて、水路に出ていきます。この水路から、右岸の土手下にある道路に出ていきます。この道路も、中央の道路と同じように、広くまっすぐな道が、上流側は羽根倉橋まで走っています。

荒川の土手は、春になると菜の花で黄色く染まります。とてもきれいです。そして、チョウチョも飛び交い、いろいろな昆虫たちが蜜を吸いに来ます。市内にも、こんなスケールの大きい自然があります。

皆さんも、是非ゆつくりと見に来て下さい。



菜の花で黄色く染まる荒川の土手